

「食事中のメール」

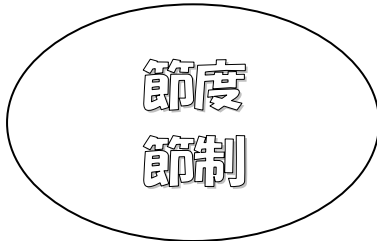
(参観のキーワード：学習シートの工夫)

— 学習すること（ねらい） —

◎主人公の心情を考えることを通して、自分の生活を見直し、自分の置かれている状況について思慮深く考えながら、自らを節制し、ほどよい生活をしていくことの大切さについて考えを深めます。



— ねらいとする道徳的価値は —



「自己の確立」において、自分を客観的に見つめられるようになることはとても大切なことです。しかし、自分を見つめるだけでは不十分であり、見つめた自分の現状について課題がないか考えることが不可欠です。自分の現状について思慮深く内省することで、自らを節制し律していくことができるようになると思います。また、このように節度をわきまえ自分をコントロールすることは自分だけでなく周囲の人々の快適な生活につながることを自覚させたいと考えています。

— この授業で使う資料について — (出典：『はばたこう明』 6年 教出版)

本資料は、食事中に何度も携帯のメールに返信したことを父にとがめられたことに腹を立てたあゆみさんが、後日、レストランで会話もせず携帯をいじって食事をする家族を見て、自分の行動を見直すという内容です。食事中の携帯電話等の使用により、周りの人がどういう気持ちになるのかという観点でこの授業のねらいに迫らせたいと考えます。

— 学習活動と主な発問 —

1 自分の生活経験を話し合う。

○今、夢中になっていることや好きなことはありますか。

2 教材「食事中のメール」を読んで主人公の心情を考える。

○あゆみが急いで返事を送ったのはなぜでしょうか。

○お父さんと言い争いをして自分の部屋に向かったとき、あゆみさんはどのような気持ちだったでしょう。

◎祖母の言葉が心にひっかかったのはなぜでしょうか。

3 自分の生活経験を振り返る。

○夢中になりすぎてけじめなく過ごしてしまったことはありませんか。

4 教師の話を聞く。



— 子供たちのこんな姿を期待します —

節度を守り、節制を心がけた生活が、自分だけではなく周囲の人々の快適な生活につながることに気づかせたいです。また、普段から節度を守り節制に心がけた生活を送ろうとする意識を高めたいです。